

通し番号	5098
------	------

分類番号	R03-99-34-10
------	--------------

藻場の再生を目的とした植食性魚類の簡易駆除手法の検討
[要約] 磯焼け発生要因の一つである植食性魚類の駆除方法を検討するため、籠網や投網等による試験を行った。5種類の籠網で試験を実施したところ、これらのうち2種類の籠網での採捕頻度が高かった。また、野菜（主にキャベツ）と釣り餌を餌料とした場合に採捕頻度が高かった。籠網による採捕は、漁業者等が簡易的に植食性魚類を駆除することができる手法であることが明らかになったが、採捕効率を上げるために籠網の改良等のさらなる試験が必要である。
神奈川県水産技術センター・相模湾試験場 連絡先0465-23-8531

#### [背景・ねらい]

海藻が繁茂する藻場は、水産生物の保護育成の場として極めて重要である。相模湾の主要な藻場はカジメを主体として構成されている。しかし、相模湾では過去10年間で藻場の大半が失われた。この現象は磯焼けと呼ばれ、その発生は、海況の変化、栄養塩の欠乏、波浪等様々な要因があげられるが、アイゴ等の植食性魚類による食害も大きな要因の一つとなっている。植食性魚類の採捕には刺網が用いられることが多いが、他魚種の混獲があることから、混獲魚へのダメージが少なく簡便に駆除が可能な手法の開発を目的とする。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 小田原漁港新港西側エリアにおいて、令和3年7月7日～12月28日の間に籠網、投網及び曳網により植食性魚類の採捕を行った。
- 2 籠網による採捕では、5種類の籠網と4種類の餌料を組み合わせる試験をおこなったところ、アイゴ、タカノハダイ、ニザダイ、ブダイ及びメジナの5種の植食性魚類を採捕することができた。
- 3 植食性魚類は、5種類中2種類の籠網での採捕頻度が高く、また、野菜（主にキャベツ）と釣り餌を餌料とした場合に採捕頻度が高かった（表1～2、図1）。
- 4 投網による採捕では、一網当たりの採捕尾数は多いもののアイゴ稚魚の群れが出現する8月下旬から9月下旬に限られるため、短期集中型の駆除方法と考えられた。一方、曳網による採捕は、植食性魚類を採捕することはできなかった。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 失われた藻場を再生するための手法の一つとなる。
- 2 磯焼けの発生要因の一つである植食性魚類を漁業者等が簡易的に駆除することができる。
- 3 籠網は、対象以外の魚類等が採捕された場合でもリリースができることから、資源に与える影響が小さい。
- 4 投網は、群れを形成するアイゴ稚魚を容易に採捕することができる。

5 市販の籠網は、植食性魚類の採捕効率が高いとは言えないことから、籠網の改良等によるさらなる試験が必要である。

[具体的データ]

表 1 籠網のタイプ別採捕尾数及び頻度

漁具	魚種	(a) 採捕尾数	(b) 採捕回数	(c) 設置回数	(a/c) 1籠当たり採捕尾数	(b/c) 採捕頻度	順位 (尾数)	順位 (頻度)
typeA	アイゴ	70	3	38	1.842	0.079		
	カハダイ	3	3	38	0.079	0.079		
	ニサダイ	1	1	38	0.026	0.026		
	メジナ	1	1	38	0.026	0.026		
	植食魚計	75	8	38	1.974	0.211	1	1
typeB	植食魚計	0	0	12	0.000	0.000	5	5
typeC	アイゴ	1	1	167	0.006	0.006		
	カハダイ	13	9	167	0.078	0.054		
	ニサダイ	1	1	167	0.006	0.006		
	ブダイ	4	3	167	0.024	0.018		
	メジナ	9	8	167	0.054	0.048		
	植食魚計	28	22	167	0.168	0.132	2	2
typeD	カハダイ	3	1	42	0.071	0.024		
	植食魚計	3	1	42	0.071	0.024	3	4
typeE	カハダイ	1	1	24	0.042	0.042		
	植食魚計	1	1	24	0.042	0.042	4	3
合計	アイゴ	71	4	283	0.251	0.014		
	カハダイ	20	14	283	0.071	0.049		
	ニサダイ	2	2	283	0.007	0.007		
	ブダイ	4	3	283	0.014	0.011		
	メジナ	10	9	283	0.035	0.032		
	植食魚計	107	32	283	0.378	0.113		

表 2 籠網の餌料別採捕尾数及び頻度

餌	(a) 採捕尾数	(b) 採捕回数	(c) 設置回数	(a/c) 1籠当たり採捕尾数	(b/c) 採捕頻度	順位 (尾数)	順位 (頻度)
海藻	3	2	65	0.046	0.031	4	4
釣り餌	11	9	94	0.117	0.096	2	2
無餌	4	3	38	0.105	0.079	3	3
野菜	89	18	86	1.035	0.209	1	1
合計	107	32	283	0.378	0.113		

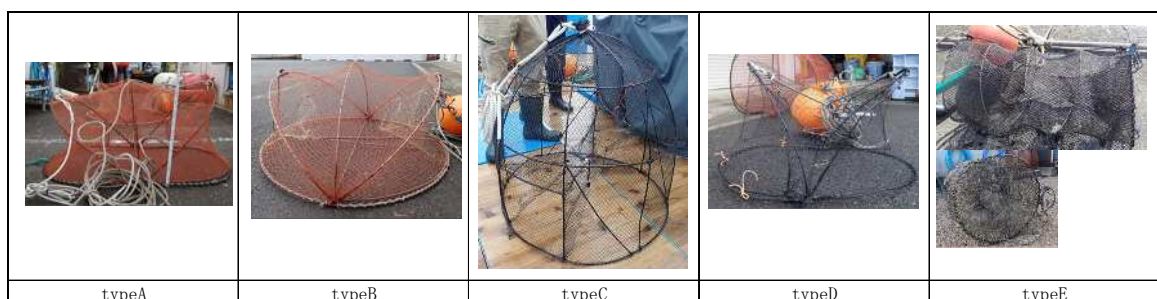


図 1 使用した籠網

[資料名] 令和3年度相模湾の漁場環境再生試験報告書（公益財団法人 相模湾水産振興事業委託事業）令和4年3月

[研究課題名] 藻場再生技術高度化試験

[研究期間] 令和2～6年度

[研究者担当名] 蓑宮 敦